

平成23年度 事業計画書

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

平成23年3月

I. 事業概要

(1) 事業環境

わが国のエネルギー政策において、低炭素社会の構築に向けてL Pガスの果たす役割への期待が高まっている。昨年エネルギー基本計画が改訂され、その中でL Pガスは「分散型エネルギー供給源で、災害時対応にも優れ、化石燃料の中で比較的CO2排出が少ないクリーンなガス体エネルギーであり、重要なエネルギー源として引き続き低炭素社会の実現にも資する利用を促進する。その際、備蓄の着実な推進や、家庭用等小口需要に対する配送の低炭素化を進めることが重要である」とされた。

こうした期待に応えるには、上記のL Pガスの優れた特長を需要に結びつけるべく、技術開発、調査研究、普及啓発、国際協力等の各分野での事業展開が必要である。取り分け、低炭素社会の実現に向けて大きな貢献が期待できるL Pガスの利用技術の開発やL Pガス配送を中心とする物流合理化の推進は、益々その必要性が高まっている。

当財団は、その設立目的である「L Pガス産業の振興とL Pガスの安定供給」を達成するための活動を着実に推進することがますます重要であるとの認識のもと、L Pガス事業者と消費者、さらに行政の3者の結束点としての機能を発揮するべく、国のL Pガス産業に関する施策の展開に資する事業、L Pガス業界・事業者の各種の取り組みに資する事業を、関係先との連携を深めて展開してゆく考えである。

また、本年度は一般財団法人への移行に対応し、新しい法人格としての体制の整備を図る必要がある。

(2) 事業概要

平成23年度は、次に掲げる事業への取り組みを計画している。

なお、国の行う委託事業や補助事業等は、そのほとんどが単年度事業としての公募が原則であることより、本計画事業の多くが公募への応募予定案件である。

- ① 技術開発事業として、低炭素社会の構築に向けたL Pガスの高度有効利用技術の開発を目的とする「バイオマス混合L Pガス有効利用システム開発調査」
- ② 調査研究事業として、L Pガスの流通合理化の促進に資する「石油ガス販売業経営実態調査」及び「石油ガス流通実態調査」、国家備蓄石油ガスの緊急放出の制度設計等に関する諸課題を検討する「国家石油ガス緊急放出方法等調査」
- ③ 普及啓発事業として、L Pガス消費者等向けの刊行物の制作と配布、講習会・懇談会の開催、ホームページを通じた広報活動を行う「石油ガス流通合理化調査」
- ④ 国際協力・交流事業として、L Pガスの安定供給を図ることを目的にL Pガス国際セミナーの開催等を行う「石油ガス国際交流事業」及びL Pガス関係国との協力強化を図る「国際協力事業」
- ⑤ 広報活動として、研究成果発表会の開催、L P G Cレポートの賛助会員への定期配布及びホームページを通じた情報発信等の事業

Ⅱ．個別事業計画

(1) 技術開発事業

バイオマス混合LPガス有効利用システム開発調査

平成22年度の事業では、LPガスを混合することによるバイオマスエネルギーの有効利用に関する国内外調査、各種課題の抽出、及び技術的解決策の基本的な検討を行った。本年度は、これらの結果を踏まえ、バイオマス発生源とその周辺の地域特性に応じたより具体的なビジネスモデルを構築するための調査を、パイプライン供給方式、液体燃料供給方式のそれぞれについて行う。

(2) 調査研究事業

① 石油ガス販売業経営実態調査

石油ガス販売事業者への調査を通して経営状況や抱えている諸課題を把握し、今後の経営合理化及び流通合理化を進める上での基礎資料を作成する。

② 石油ガス流通実態調査

卸売事業者・充てん所への調査を通して地域別・分野別に販売と物流の実態を分析し、LPガスの流通合理化を進める上での基礎資料を作成する。

③ 国家石油ガス緊急放出方法等調査

民間商慣習を活用した迅速で弾力的な国備ガス放出の具体的手法の検討及び諸外国の備蓄制度・運用方法の調査を行う。

(3) 普及啓発事業

石油ガス流通合理化調査

石油ガスの取引環境の整備・向上を図るため、石油ガス取引の適正化を確保するための石油ガスの流通・取引に関する適切な情報の提供と啓発を行う。

1) 講習会の実施

一般消費者、地方公共団体、石油ガス販売事業者及びLPガス関連団体等に対して、LPガスに関する知識を広めるための各種講習会を開催する。

2) 情報普及活動の実施

啓発のための各種刊行物を作成し、全国の消費者団体、地方公共団体等へ配

布する。また、ホームページに掲載し、広く発信する。

3) 石油ガス懇談会の実施

石油ガスの流通や取引等の諸問題について、石油ガス販売事業者と消費者との信頼関係をより一層醸成させるため、石油ガス販売事業者、消費者等による液化石油ガス懇談会を開催し、内容を取りまとめる。

(4) 国際協力・交流事業

① 石油ガス国際交流事業

1) LPガス国際セミナーの開催

わが国へのLPガスの安定供給を図ることを目的に、本国際セミナーを年次事業として開催し、産ガス国、消費国及びLPガス関連企業・団体との交流を促進するとともに、LPガス需給動向を展望する。

2) 石油ガス対話促進事業

LPガス国際セミナーにおいて提起された課題等を追跡しLPガス関係国との関係を緊密化することを目的に、LPガスに係るセミナーへの参加並びにLPガス国際セミナー招聘国への訪問等を行う。

② 国際協力事業

引き続き当財団は世界LPガス協会(WLPGA)の会員として、世界のLPガス関係国等との協力関係を維持発展させる。

(5) 広報活動

- 1) 「研究成果発表会」等を開催し、当財団の技術開発・調査研究事業等について、その成果を広く公表し、理解を深める。
- 2) 当財団で実施した技術開発・調査研究の報告書の「要約版」などを作成し、会員・LPガス関連団体等に広く配布して普及啓発を図るとともに、会員相互の交流を促進する。
- 3) 当財団の組織、事業、活動等を紹介する冊子を、賛助会員及びLPガス関連団体等に広く配布し、PRする。
- 4) 「LPGレポート」を定期的に作成し、賛助会員及びLPガス関連団体等に効果的に配布し、PRする。
- 5) 当財団の組織、事業、活動等についてホームページに掲載することにより広く情

報の公開、発信を行う。

- 6) LPガス関連団体等と連携し、共通する課題等の抽出とその解決策を見いだすための検討会・勉強会等に参画するとともに、必要な調査等を行う。